

科目名 Course Name	日本国憲法 Constitutional Law of Japan			ナンバリング No.	A2-016		
年次	1 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	宮下 義樹						
連絡方法	C-Learning で対応。教室、非常勤講師室						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1 DP2 DP4						
授業の概要と到達目標	<p>【授業の概要】</p> <p>日本国憲法とこれにかかわる事項について扱う。高校までに学んだ内容を振り返るだけでなく、社会人としてさまざまな問題を考えられるように、さらなる知的発見を得られる場とする。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 憲法の内容について論じることができるようになる。 2. 国の仕組みやあり方について論じることができるようになる。 3. 社会におけるさまざまな問題について憲法という観点から論じることができるようになる。 						
授業の方法	配布したレジュメに沿って講義を行う。毎回各テーマについての講義を行い、講義最終日には最終的な知識を確認するために試験を行う。また、適宜授業の感想や質問を記述するリアクションペーパーの提出を求める。						
学習成果	L01						
	L02	憲法と実社会での関係性を理解して、社会で生きることの認識を得る。					
	L03						
	L04	現代社会では世界中で重要とされている人権の概念を把握し、共通的な認識を持つ					
課題に対するフィードバック	講義の中で対応する						
教科書/参考図書	<p>【教科書】</p> <p>東裕 編『憲法入門講義』(一藝社、2021 年)ISBN: 978-4-86359-235-3</p> <p>【参考図書】必要に応じて講義中に提示する。</p>						
履修上の留意点やルール等	特にないが、新聞やニュース等の様々な情報を良くチェックした方が望ましい。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	提出物の状況から判断する		8		2		
レポート/作品	事実を整理しているか、自分の考えを表現しているかを評価する		8		2		
発表							
小テスト							
試験	知識を理解しているかどうかという点の評価を行う		60		20		
その他							
合 計			76		24		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、憲法とは
	事前・事後学習	憲法とはどのような存在であるかの学習をする
2	授業内容	憲法の歴史
	事前・事後学習	日本国憲法に至るまでの憲法の変遷の学習をする
3	授業内容	日本国憲法の特徴
	事前・事後学習	日本国憲法の三大原則の概観を学習する
4	授業内容	法の下での平等
	事前・事後学習	憲法上の平等について学習をする
5	授業内容	自由権1
	事前・事後学習	表現の自由について学習する
6	授業内容	自由権2
	事前・事後学習	その他、精神的自由権について学習する
7	授業内容	自由権3
	事前・事後学習	経済的自由権について学習する
8	授業内容	社会権
	事前・事後学習	社会権について学習する
9	授業内容	権力分立1
	事前・事後学習	立法(議会)について学習する
10	授業内容	権力分立2
	事前・事後学習	行政(内閣)について学習する
11	授業内容	権力分立3
	事前・事後学習	司法(裁判所)について学習する
12	授業内容	平和主義
	事前・事後学習	平和主義について学習する
13	授業内容	地方自治
	事前・事後学習	地方自治について学習する
14	授業内容	違憲審査制度
	事前・事後学習	違憲審査制について学習する
15	授業内容	憲法改正
	事前・事後学習	憲法改正について学習する